

令和元年度事業報告

社会福祉法人
長野県視覚障害者福祉協会

1. 各種会議の開催

協会の事業を円滑にするため、次の会議を開催しました。

理事会 6回、評議員会 2回（内、3月の臨時評議員会は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、決議の省略により開催）

その他、各部では必要に応じて会を開き、理事会や協会運営に反映させました。

2. 県よりの受託事業の実施

（1）視覚障がい者総合支援事業

- ・点字・声の広報等発行推進に関すること

点字および音声CDによる広報誌等作成発行

- ・点字による即時情報ネットワーク事業（241回、延べ264名に提供）

日経新聞掲載のニュースの他、福祉関係情報を点字にて作成発行

- ・視覚障がい者社会生活訓練に関すること

中途失明者生活訓練・・・指導員（外部登録指導員）を派遣し、白杖歩行訓練や点字訓練、日常生活動作訓練等を実施
（13名、108.5時間実施）

福祉講習会の開催・・・身近や家事の事、パソコン等の情報機器、視覚障害者福祉用具等についての講習会の開催
（年間1回実施、20名が参加）

視覚障害者生活訓練・・・（年間2回実施、延べ66名が参加）

（2）点訳・朗読奉仕員養成事業

- ・点訳・音訳ボランティア養成の為の研修会等の開催

点字：年間56回実施、延べ494名が受講

朗読：年間34回実施、延べ669名が受講

3. 同行援護従業者養成研修会の開催

長野県の指定事業としてガイドヘルパー養成研修を実施。元年度は32名が受講。

4. 松本北部障害者デイサービスセンターの運営

「松本市地域活動支援事業」として事業運営補助金を受け、運営しています。

厚生労働省で定められている「障害者デイサービス事業」とは、身体障害者の自立の促進、生活の改善、身体機能の維持向上を図るため、通所により創作的活動、機能訓練等の各種サービス提供をすることにより、身体障害者の自立と社会参加を促進し、

福祉の増進を図ることを目的とし、平日の2時間もしくは5時間を、ヨガ教室や生け花教室等で楽しみながら、同じ障害を持つ他者との触れあいの時間を過ごして頂いています。

- (1) 日常生活訓練事業(生活教室など)
- (2) 社会適応訓練事業(料理、生花など)
- (3) 創作・軽作業事業(陶芸、エコクラフト、革細工、ビーズ教室など)
- (4) その他(うた、俳句、ストレッチ&リンパ、ヨガ、オカリナなど)

年間延べ利用数：940名/140日開講

5. ガイドヘルプ事業所しらかばの運営

障害者総合支援法による「障害福祉サービス介護給付費」と、地域生活支援事業による「移動支援事業費」を受け、県下一円の視覚障害者に対し、ガイドヘルパーと呼ばれる外出援護者を派遣し、移動に必要な情報を提供するとともに、移動の援護をするサービスを提供しています。

また、年間2回のガイドヘルパーに対する研修会を実施し、技術の向上に努めています。

年間延べ利用数：移動支援 330名/2,269時間（昨年度は910名/2,311.5時間）

同行援護 171名/339.5時間（昨年度は217名/621時間）

6. 公益事業の実施

長野県盲人ホームの運営

長野県より、「都道府県地域生活支援事業」として事業運営補助金を受け、自営又は雇用されることの困難な「あん摩・マッサージ・指圧師、はり師、灸師」資格取得者に対し、必要な技術指導を行う研修機関の運営。

本年は、指導員4名、利用者5名で運営され、年間受診者数は385名でした。

7. 収益事業の実施

- (1) 点字印刷事業：例年の長野県・松本市広報誌の他、参議院議員選挙、朝日村長選挙、松本市議会議員選挙、長野市議会議員選挙、松本市長選挙の点字印刷および朗読CDの作成を行った。
- (2) プリント事業：昨年度に引き続き、高校の文化祭のTシャツの大口受注や松本ぼんぼんのTシャツの受注があり、順調でした。
- (3) 盲人用具販売事業：例年どおり。
- (4) 援護事業：書き損じハガキを集め、換金する事業。書き損じハガキ寄附対象は県下の幼・保・小・中・高校にお願いしております。

8. 就労継続支援B型事業所ふれっ手の運営

職員10名、利用者約21名心をひとつにし、運営しています。

- (1) 行事：ふれっ手まつり、研修旅行（日帰り）等を実施。
- (2) 一般作業：自主製品の製作販売、ぞうりっぱ、ふれっ手織り、いなり寿司の

製造販売等に力を注ぎ、高校・病院などに販路を広げております。委託品の販売、販路の拡大。

施設外就労として、いなり寿司の販売、県合同庁舎の床清掃、草取り等、リンゴの摘花作業、収穫、野菜作り等の農作業。

(3) 情報作業：名刺作成印刷等幅広い受注販売に勤めた。

(4) 三療作業：指導員のもと技術向上と就労支援、患者さんの確保に努めた。

(5) クラブ活動：希望者。

9. 賛助会員制度

県内各企業に本年も賛助会員としての参加をお願いしてまいりました。

不況の中、沢山のご協力を得られました。

企業84件/623,000 円、会員 11名/61,000 円のご協力をいただきました。

10. 第72回長野県視覚障害者福祉大会の開催

会員の団結力強化、行政・一般社会に対する啓発を目的として、6月30日(日)長野市の「長野市生涯学習センター4階 大学習室1」で盛大に開催されました。第72回大会より、宿泊しての二日間の開催を取りやめ、議事・式典のみの開催とした。参加者は、県知事(代理)はじめ、地元選出国・県・市議会議員、顧問ほか福祉団体の代表、ボランティア多数、会員、総勢110名でした。

スローガンは4項目、決議は13項目で、いずれも身近なものばかりでした。

11. 第46回北信越グランドソフトボール大会に選手を派遣

期 日：5月18日(土)～19日(日)

会 場：石川県 石川県テクノパーク運動広場

参加チーム：石川県・富山県・新潟県・長野県・福井県

成 績：優勝 長野県

準優勝 富山県

12. 第28回北信越サウンドテーブルテニス大会に選手を派遣

期 日：10月26日(土)～27日(日)

会 場：富山県 富山市体育文化センター

参加チーム：富山県・新潟県・長野県・福井県・石川県

成 績 (団体戦)：優勝 長野県A

(個人戦)： " 男子 石川県

" : " 女子 長野県

(男女混合個人戦)：優勝 石川県

13. 視覚障害者のクラブを積極的に推進援助

全県対象のサウンドテーブルテニスクラブ、松本市を中心にした俳句クラブ「雪形会」に、その発展のため積極的に援助、協力しています。

14. 各団体との協調

関係諸団体と連携をはかりながら、本会の啓発に役立つ活動をしています。

- (1) 長野県・関係行政機関
- (2) 長野県障害者福祉センター「サンアップル」
- (3) 長野県社会福祉協議会
- (4) 長野県身体障害者福祉協会
- (5) 長野県障がい者スポーツ協会
- (6) 長野県はり灸マッサージ師会
- (7) 上田点字図書館
- (8) その他関係団体

15. 日本視覚障害者団体連合への協力

日視連加盟団体として、日視連の活動が一層安定し、あわせて視覚障害者福祉向上のため、本会も積極的に協力しています。

- (1) 第72回全国盲人福祉大会(札幌大会)に参加

日視連に加盟している全国都道府県、政令指定都市などの代表が一堂に会し、視覚障害者に対する理解と要求、啓発を目的として全国持ち回りで開催しております。

期 日：5月26日～28日

会 場：札幌市 札幌文化芸術劇場ヒタル

参加者：約1,000名

本会からは理事長ほか4名が出席しました。

- (2) 第65回全国盲女性研修大会(名古屋大会)に参加

日視連に加盟している女性協議会の代表が一堂に会し、盲女性をとりまく諸問題について、討議学習し情報を交換し合うことを目的として、全国持ち回りで開催しております。

期 日：8月27日～29日

会 場：名古屋市 ウィンクあいち

参加者：約700名

本会からは女性部長ほか16名が出席しました。

- (3) 第65回全国盲青年研修大会(三重県大会)に参加

日視連に加盟している青年協議会の代表が一堂に会し、盲青年をとりまく諸問題について、討議学習し情報を交換し合うことを目的として、全国持ち回りで開催しております。

期 日：9月22日～23日

会 場：津市 アスト津

参加者：約240名

本会からは青年部長が出席しました。

16. 北信越ブロック大会の開催

北信越ブロックでは、毎年各県持ち回りでこの大会を実施しております。

本年度は当県が当番県として主催し、代表者会議、青年部と女性部の各協議会が行われ、県知事(代理)はじめ、諏訪市長の金子ゆかり様、地元のボランティア10名にお手伝いいただき、各県参加者、当県会員、関係者含め総勢126名が集い、盛況に終えました。

期 日：11月23日(土)～24日(日)

会 場：信州・上諏訪温泉 鷺の湯(さぎのゆ)

17. 長野・松本両盲学校卒業生への対応

(1) 本会の内容及び加入説明会

長野盲学校 3月

松本盲学校 3月

(2) 卒業記念品の贈呈

長野盲学校 7名

松本盲学校 3名

18. 盲老人ホーム「光の園」への協力

下伊那郡下条村にある「光の園」は、県内唯一の盲老人ホームです。例年通り双方の事業を通じて、緊密な連携を保ちながら、疎通を図っております。

19. 事業推進委員会会員及び県内視覚障害者に県内外の情報を提供

視覚障害者は、錯綜している情報化時代の中でも情報受信が少ないため、行政をはじめ関係機関から点字・録音等で情報を受け、また、本会の機関誌を通じて、事業推進委員会会員の消息・情報提供・啓発につとめています。

(1) 点字・音声即時情報ネットワーク事業による「JBニュース」を提供

日視連をキーステーションとして、日々送られてくる情報を県視覚障害者福祉センターで受信し、週に一度集約した情報を各支部長及び役員、一般会員の希望者に送付しています。

(2) 声の厚生(録音)を隔月各支部に提供

(3) 愛盲時報を、墨字使用者及び関係機関に提供

(4) 長野県広報点字版・CD版を年4回提供

(5) 長野県議会報点字版・CD版を年4回提供

(6) 長野県身体障害者福祉協会「こころの友」点字版提供

(7) 「視障協だより」を会員に提供(年4回)

(8) 会員文集「信濃の泉」の刊行を原稿投稿者、年賀申込者に提供

(9) 各支部及び県内諸団体からの依頼による点字版通信を、必要に応じて会員に提供

(10) 各市町村の広報を点訳し地域会員に提供

20. 事業推進委員会各支部に対する鍼・灸・マッサージによる奉仕活動への支援

事業推進委員会各支部が、社会への還元を目的として各地域の老人ホーム等に鍼・灸・マッサージの奉仕を行っている事業に対し、活動助成金を支援しています。

本年度は、9支部に対し、86,000円を支援しました。

21. 点字講習会の開催

各支部が、独自の計画で地域に適した講習会を行う事業です。

対象者は、晴眼者・中途視覚障害者、点字をより一層修得したい方。

本年度は、4支部で開催しました。

22. 事業推進委員会女性部活動への援助

(1) 第60回女性部総会

期 日：6月2日(日)

会 場：県視覚障害者福祉センター

(2) 秋の研修会

期 日：10月20日(日)

会 場：県視覚障害者福祉センター

テーマ：「会員交流会」